

長期資産形成の本格稼働

三菱UFJ国際投信株式会社 常務取締役
代田 秀雄 CMA・CIIA



ミレニアル世代に「つみたて投資」が広がっている。ミレニアル世代は、1980年代から1990年代半ばに生まれ、2000年以降に成人を迎えた世代のことである。現在、20代後半から40歳くらいの年齢であり、インターネットなどのデジタルテクノロジーの発展とともに成長した世代といえる。金融庁が公表しているNISA口座の利用状況によると、2022年6月末のつみたてNISAの口座数638万口座のうち、30代の口座数が183万口座（構成比29%）と全世代の中で一番多くなっている。また、2022年に入ってから6カ月間でつみたてNISA口座は120万口座（人口の1%相当）も増えており、30代だけで36万口座増えた。一般NISAから4年遅れで2018年にスタートしたつみたてNISAだが、ミレニアル世代の30代を中心に、口座数が直近6カ月で23%増えるという驚異的な拡大をみせている。

つみたてNISAで投資されている投資信託の85%がインデックス・ファンドである。30代についてみれば、その割合は89%とより高くなる。また、このインデックス・ファンド比率については口座数の増加とともに年々上昇している。つみたてNISAで投資対象となっているインデックス・ファンドは、購入時手数料無料のノーロード・インデックス・ファンドである。ノーロード・インデックス・ファンドは主にインターネ